

別紙1 画像診断システム要求仕様書

要求仕様							必須
0						非機能要件	
0	2					設計・開発・テスト要件	
0	2	1				設計・開発要件	
0	2	1	1			設計・開発計画書の作成	
0	2	1	1	1		設計・開発計画の作成については、以下の要件を満たすこと。	
0	2	1	1	1	1	本仕様書及び提案内容に基づき、作業内容定義、作業スケジュール、実施体制、レビュー実施計画、チェックポイント、開始・終了条件等を記載した設計・開発計画書を作成すること。作成後は当センターと協議し、承認を得た上で成果物として納入すること。	○
0	2	1	1	1	2	パッケージシステムの活用を前提とした設計・開発計画書を納入すること。	○
0	2	1	1	1	3	現行システムから次期システムに切り替わった時の業務運用の変更点を当センター職員が十分理解できるよう設計書のレビューとともに変更点の説明を実施すること。	○
0	2	1	1	2		設計については、以下の要件を満たすこと。	
0	2	1	1	2	1	基本設計書、詳細設計書、インタフェース設計書を作成し、当センターと協議の上、承認を得た上で成果物として納入すること。	○
0	2	1	1	2	2	ユーザインタフェースの設計にあたっては、「ユーザインタフェース設計書」を成果物として納入するとともに、パッケージがインストールされた実機を常設して、自由に操作できる環境を提供すること。また、当センターの要求に応じてデモンストレーションを行うこと。	○
0	2	1	1	2	3	設計においては、WGの場でシステム運用設計を行い「システム運用フロー」として改訂し、成果物として納入すること。	○
0	2	1	1	2	4	「システム運用フロー」は、基本業務の処理フローのみならず、例外事象や障害等の異常事象が発生した場合の処理フローまでを含めて、考え得る全てのパターンを洗い出すこと。	○
0	2	1	1	2	5	当センターが提示する端末配置計画を参考に、システム運用設計、ネットワーク設計、電源設備や設置場所のスペースを考慮に入れ、端末配置の最終計画を策定を支援すること。	○
0	2	1	1	2	6	必要に応じて、当センター内で使用している現行のシステムの機能や使用帳票等についても調査に協力し、その優劣点を把握するなど、業務運用の最適化を図る為の負担を惜しまないこと。	○

別紙1 画像診断システム要求仕様書

要求仕様							必須
0	2	1	1	2	7	運用検討の結果、業務をスムーズに進めるためには、現行に加えて新たに要員配置することが望ましいと考えられる場合、必要人数等の情報を提言すること。	○
0	2	1	1	2	8	構築作業の期間中において、受託者が当センターの指定する場所で使用する什器や備品、また必要な通信環境に関しては受託者が用意すること。作業場所における机、椅子等の備品については当センターが準備するものとする。持ち込み品の可否や設置場所等の詳細については、この事前協議を行い当センターの承認を得ること。	---
0	2	1	1	2	9	設計・開発スケジュールは、2025年5月1日稼働を順守すること。	○
0	2	1	3			開発環境	
0	2	1	3	1		システム開発業務期間中の作業は、当センターの指定場所、または両者協議の上決定した場所にて実施すること。作業場所内のネットワーク配線、開発用端末、プリンター、その他機器、用紙等の消耗品は受託者が準備すること。	○
0	2	1	4			開発方法	
0	2	1	4	1		ベースはパッケージシステムを利用すること。	○
0	2	1	4	2		開発期間内に法律改正により、設計・開発作業に戻りが発生した場合は、その扱いにつき当センターと誠実に協議すること。	○
0	2	2				テスト要件	
0	2	2	1			対象とするテストの範囲	
0	2	2	1	1		正常稼働を保証するためのテストとして、単体テスト（パッケージ標準部分を除く）、結合テスト、総合テスト、受入テストを本テスト要件の範囲とする。なお、次期システムを使用した当センター業務が円滑に遂行できることを確認するためのリハーサルも対象とする。テスト、リハーサルについては、同時に稼働する電子カルテシステム導入事業者と調整のうえ、円滑に実施するよう配慮すること。	○
0	2	2	2			テスト計画の作成	
0	2	2	2	1		受託者は、評価基準、開始・終了条件、テスト実施体制、テスト方法（使用ツール等含む）、テストデータ、テスト環境、テスト運営方法、テスト観点表について記述したテスト計画書をテスト開始1か月前までに作成し成果物として納品すること。	○
0	2	2	2	2		テスト計画書は、全体テスト計画書その他、単体テスト（パッケージ標準部分を除く）、結合テスト、総合テスト、リハーサルについて、それぞれ作成または作成支援をすること。なお、当センター側にて実施する受入テスト計画書の素案も作成支援をすること。	○
0	2	2	2	3		本番運用時に想定されるケースを洗い出し、全ケースについて網羅的にテスト実施可能となるようテスト実施計画を策定すること。	○
0	2	2	3			テスト実施体制と役割	

別紙1 画像診断システム要求仕様書

要求仕様							必須
0	2	2	3	1		受託者は各テストを円滑に推進するために、テスト実施責任者を配置し、当センター、電子カルテ導入事業者、端末整備受託者、ネットワーク整備受託者、サーバールーム整備受託者と協力して作業、進捗報告を行うこと。	○
0	2	2	3	2		各テスト工程については、当センターの診療業務に負荷を与えることなく、受託者が責任を持って作業を実施すること（ただし受入テスト等、当センター側の実施が必要な工程は除く）。	○
0	2	2	4			テストスケジュール	
0	2	2	4	1		単体テスト、結合テスト、総合テスト、受入テスト及びリハーサルは事前にスケジュールを提示して、当センターの承認を得ること。	○
0	2	2	4	2		結合テスト完了時には、テスト仕様書、テストデータ、テスト結果報告書を提示の上、当センターの中間検査を受けること。	○
0	2	2	4	3		総合テストはテストで見つかった不具合の修正は、総合リハーサル開始までに完了させること。	○
0	2	2	5			テスト環境	
0	2	2	5	1		単体テスト、結合テスト、総合テスト、受入テスト、リハーサル期間において、当センター側調達の機器やネットワークを使用する場合、事前にスケジュールを提示して当センター側の調達搬入構築スケジュールと調整を図ること。	○
0	2	2	5	2		当センターの既存システムの環境を用いてテストを実施する場合には、診療業務に負担をかけないように事前に当センターと協議し、その指示に従うこと。やむを得ず職員への作業依頼が必要な場合は、事前に当センターに申し入れ、協議すること。	○
0	2	2	6			テスト方法	
0	2	2	6	1		単体テスト（パッケージ標準部分を除く）については、以下の要件を満たすこと。	
0	2	2	6	1	1	単体テストは開発したモジュール等の単位で、プログラムが正常に動作することのテストを行うこと。 また、設定したパラメータが正常に動作することのテストを行うこと。	○
0	2	2	6	1	2	単体テスト工程終了時については、単体テスト結果報告書を作成し、当センターへ報告すること。	○
0	2	2	6	2		結合テストについては、以下の要件を満たすこと。	

別紙 1 画像診断システム要求仕様書

要求仕様							必須
0	2	2	6	2	1	結合テストは開発した機能及び電子カルテシステム、部門システムとのデータ授受が正常に連動して動作すること等のテストを行うこと。 また、移行プログラムの結合テストのテスト結果（移行後データ）を用いてテストを行い、データ移行により本システムが使用できるデータベースができていないことを検証すること。	○
0	2	2	6	2	2	結合テスト工程終了時については、結合テスト結果報告書を作成し、当センターへ報告すること。	○
0	2	2	6	3		総合テストについては、以下の要件を満たすこと。	
0	2	2	6	3	1	総合テストでは、画像診断システムと電子カルテシステムと医事会計システムの本番環境にてテストを行うことで、業務が遂行可能であること、適切にセキュリティが確保されていること、業務ピーク時を想定した状況下で性能要件を満たしていること等、画像診断システム、電子カルテシステム、医事会計システムとしての最終品質確保のためのテストを行うこと。	○
0	2	2	6	3	2	受託者は、総合テストを円滑に行い、必要なテストが漏れなく実施されるよう、端末整備受託者、ネットワーク整備受託者、サーバールーム整備受託者と必要な調整、とりまとめを主体的に行うこと。	○
0	2	2	6	3	3	業務ピークを想定したテストのため、受託者の負担と責任において負荷発生状況を再現して実施すること。再現が難しい場合には、同等環境を疑似的に再現するか、他施設での実績等を報告し、当院の承認を得ること。また、総合テスト工程終了時については、総合テスト結果報告書を作成し、当センターへ報告すること。	○
0	2	2	6	3	4	テスト工程で発見された不具合については、総合テスト工程終了時までに対応を完了すること。	○
0	2	2	6	4		受入テストについては、以下の要件を満たすこと。	
0	2	2	6	4	1	受入テストは、総合テスト工程終了後に、当センターが主導となり、業務が円滑に遂行できることを検証するテストである。実施主体は当センターであるが、受託者は作業支援を行うこと。	○
0	2	2	6	4	2	受入テストの実施にあたっては、総合テストで使用したテスト仕様書、テストデータ、テストシナリオを全て当センターに提示すること。	○
0	2	2	6	4	3	受入テスト期間中はユーザからの問合せを受けられるよう、受託者は立ち会いをすること。	○

別紙 1 画像診断システム要求仕様書

要求仕様							必須
0	2	2	6	4	4	受け付けた問合せは問合せ管理表を作成して管理し、修正が必要な場合は修正を行うこと。修正にあたってはデグレードしないよう細心の注意を払うこと。	○
0	2	2	7			テストデータ	
0	2	2	7	1		テストデータは、受託者が作成すること。	○
0	2	2	7	2		テストで使用するデータについては、各テストの計画書に使用するデータの種類等を記載し、使用したテストデータはテスト結果とともに納入すること。	○
0	2	2	7	3		既存データ、外部接続先システム提供データ等を使用する場合については、その管理方法等について当センターの指示に従うこと。	○
0	2	2	7	4		なお、テスト時に使用した不要なデータ、ユーザID、テスト患者ID、プロセス、サービスはテスト完了時に完全に削除すること。	○
0	2	2	8			リハーサル	
0	2	2	8	1		リハーサルの実施に向けて、以下の準備を実施すること。 ・リハーサル実施シナリオ（案）作成支援 ・リハーサル目的・到達目標作成支援 ・リハーサルスケジュール作成支援 ・リハーサル実施手順作成支援 ・リハーサル環境構築 ・リハーサルデータ準備	○
0	2	2	8	2		総合リハーサルは、本稼働2週間前までの間に2回実施すること。また、前回のリハーサルで発生した課題の対応を完了させて次回のリハーサルに臨めるようリハーサル間の期間は2週間以上確保したスケジュールを立てること。 尚、当センターが必要ないと判断した場合に限っては、リハーサルの実施可否と回数については変更可能とする。	○
0	2	2	8	3		リハーサルは、当センターの通常業務に支障を与えないよう当センターの休日もしくは夜間帯に実施すること。	○
0	2	2	8	4		システム障害発生により電子カルテシステムが停止した場合のシナリオも用意し、リハーサルを実施すること。 尚、当センターが必要ないと判断した場合に限っては、リハーサルの実施可否と回数については変更可能とする。	○
0	2	2	8	5		リハーサルにて発生した問合せ、課題等は、受託者にて管理し、課題解決の対応をとること。	○

別紙1 画像診断システム要求仕様書

要求仕様							必須
0	2	2	8	6			○
リハーサル時に使用した不要なデータ、ユーザID、テスト患者ID、プロセス、サービスはリハーサル完了時に完全に削除すること。							